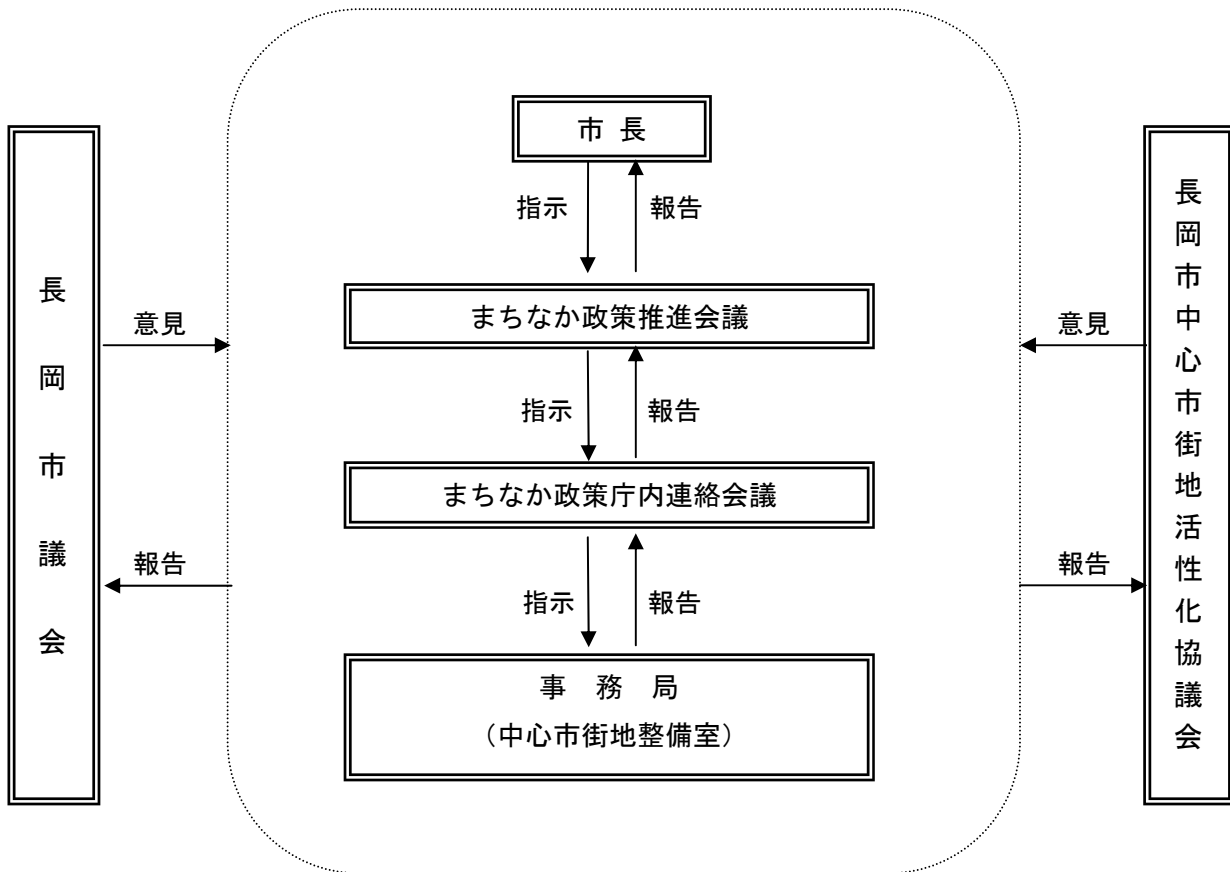


## 9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

### [1] 市町村の推進体制の整備等

#### (1) 市庁内体制

<長岡市の推進体制図>



#### 1) これまでの取り組み

平成11年3月に策定した旧中心市街地活性化基本計画の推進に当たっては、商工部商業振興課が中心となり、都市整備部都市整備課と連携しながら「商業活性化」及び「市街地整備改善」の両面から取り組んできた。しかし、社会経済情勢の悪化が進む中、中心市街地の衰退に歯止めをかけるためには、中心市街地の構造そのものを改変する必要があること。更に「現場主義」の考え方を踏まえ、活性化の担当者を中心市街地に常駐させることが効果的であることから、平成15年4月、都市整備部に中心市街地活性化専任の部署「まちなか活性課」（まちづくり係・拠点係・再開発係、正規職員計12人）を新設し、ながおか市民センター内に配置した。

その後、平成16年4月には、中心市街地の空きビルに「長岡市役所大手通分室」を開設し、商工業・観光振興等を所管する商工部の全課を配置した。さらに、市町村合併に伴う本庁勤務職員の増加を背景として、平成17年4月に「長岡市役所大手通西分室（企画部各課ほか）」、平成18年1月に「長岡市役所城内町分室（都市整備部各課）」を、いずれも中心市街地の空きビルに開設した。

平成19年2月には、「市役所の位置を定める条例」が改正され、本庁舎を厚生会館地区に移転することが決定した。その後、平成19年11月に長岡市中心市街地活性化協議会が設立、平成20年11月

には第1期中心市街地活性化基本計画が認定され、本格的に中心市街地の活性化に向けた取り組みがスタートした。平成21年11月には、大手通中央東地区第一種市街地再開発事業、平成22年6月には、大手通中央西地区第一種市街地再開発事業の建築工事が竣工、その後、「ちびっこ広場」や「まちなかキャンパス長岡」などの開業、大手スカイデッキが完成するなど、第1期計画のもとで中心市街地の活性化に向けた取り組みが着々と進行し、平成24年4月にアオーレ長岡が完成し、市役所機能のほとんどを中心市街地へ移転させている。

## 2) 中心市街地活性化を担当する組織（平成25年4月1日現在）

平成19年4月1日付け組織再編により、市街地整備・都市福利施設・都心居住・商業振興・都市交通等、中心市街地の活性化に係るさまざまな施策を全庁横断的に企画調整し、新たな中心市街地活性化基本計画を策定・推進するための部署として、企画部に「中心市街地活性化推進室」を新設した。その後、体制を強化し、中心市街地の整備、市街地再開発、中心市街地活性化の計画策定や施策推進のため部級組織を立ち上げ、平成25年4月1日付で「中心市街地整備室」を新設した。

課級組織	企画部企画課（中心市街地活性化推進室）	部級組織	中心市街地整備室
所管事項	中心市街地の総合調整、新たな中心市街地活性化基本計画の策定・推進、まちなか・考房	所管事項	中心市街地の整備、中心市街地活性化に関する計画策定及び推進、市街地再開発事業
人員体制	室長以下2名	人員体制	室長以下9名

## 3) 全庁横断的な検討・運営組織

### ①まちなか政策推進会議

「第2期長岡市中心市街地活性化基本計画」策定及び中心市街地活性化に向けた部局横断的な検討組織として、関係部長以上の職員で構成する「まちなか政策推進会議」を設置し、基本的な方針を決定する。会議は、必要に応じて庁議終了後に開催する。

職名	氏名	備考
副市長	磯田達伸	議長
中心市街地整備室長	小林周	副議長
市民協働推進室長	山崎茂樹	
新エネルギー政策監・商工部長	高橋譲	
都市整備部長	森山建之	
地域振興戦略部長	佐藤行雄	
福祉保健部長	水澤千秋	

(職名及び氏名は平成25年4月1日現在)

## ②まちなか政策庁内連絡会議

まちなか政策推進会議の下部組織として、中心市街地活性化に資する事業を所管する関係課（室）の課長級職員で構成する「まちなか政策庁内連絡会議」を設置し、個別事業の全体調整・運営等を行う。

職名	氏名	主な所管事項
市民協働推進室特命主幹	柳鳥 和久	アオーレ長岡での各種交流イベント
商工部商業振興課長	鈴木 正行	商業振興政策
商工部観光企画課長	山田 慎一	観光振興政策
都市整備部都市計画課長	小玉 誠	コンパクトシティ
都市整備部住宅施設課長	安部 和則	まちなか居住の促進
都市整備部交通政策課長	猿子 求	交通政策
地域振興戦略部特命主幹	長谷川雅泰	地域政策
福祉保健部福祉総務課長	成田 高史	福祉保健政策

(職名及び氏名は平成 25 年 4 月 1 日現在)

## ③事務局

中心市街地整備室が計画策定及び個別事業調整、本計画の進捗管理等の実務を行う。

職名	氏名	備考
中心市街地整備室特命主幹	川津 充弘	専任
中心市街地整備室総括副主幹	相田 和規	専任
中心市街地整備室総括主査	川合 和志	専任
中心市街地整備室主査	早川 裕之	専任
中心市街地整備室主査	岩本 操	専任

(職名及び氏名は平成 25 年 4 月 1 日現在)

## (2) 市民との連携

### 1) 長岡まちなか創造会議 ～まちなかの価値の創造に向けて～

長岡市中心市街地の構造改革に関する提言を具現化すべく、第1期計画に基づき「まちなか型公共サービスの展開」を中心とした活性化策を展開することで、市民活動が活発化し、まちなかは「文化・情報・交流」の場として質的な転換を遂げるという成果を得た。

この流れを停滞させることなく、次なる活性化の取り組みを推進するため、平成25年5月に中心市街地の新たな政策「長岡モデル」を検討・提案する場として、学識経験者及び幅広い分野の専門家からなる「長岡まちなか創造会議」（委員長＝中出文平 長岡技術科学大学副学長）を設置した。

第2期計画は、当会議の議論を踏まえ検討を行った。

#### <長岡まちなか創造会議 委員名簿>

役 職	氏 名	所 属 等
委員長	中 出 文 平	長岡技術科学大学 副学長
副委員長	北 原 啓 司	弘前大学 教育学部副学部長
委 員	安 藤 栄 治	長岡市大手通商店街振興組合 理事長
同	神 林 茂	市民交流ネットワーク アオーレ 代表理事
同	小 山 剛	社会福祉法人長岡福祉協会 理事・評議員・執行役員
同	佐 竹 直 子	多世代交流館になニーナ 代表
同	澤 田 雅 浩	長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 准教授
同	羽 賀 友 信	長岡市国際交流センター センター長
同	樋 口 秀	長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授
同	平 野 保 雄	長岡地域商工会連合 会長
同	細 川 恭 一	長岡商工会議所 副会頭 地域・まちづくり委員会 委員長
同	八 子 淳 一	(株)ホクギン経済研究所 取締役社長
アドバイザー	石 原 武 政	流通科学大学 商学部 特別教授 (経済産業省産業構造審議会／中心市街地活性化部会委員)
同	遠 藤 薫	独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部 まちづくり支援部長 (前) 東京大学先端科学技術研究センター 教授

## 2) ライフデザインゲーム (主催：中心市街地活性化協議会 共催：NPO 法人まちなか・考房)

子どもたちの視点から、将来中心市街地がどのような姿になってほしいのかを把握するため、表町小学校の5年生を対象にライフデザインゲームを実施した。

### ●開催概要

日時：平成24年6月29日(金) 9:00~11:30

会場：アオーレ長岡 ナカドマ

### ●ライフデザインゲームの進め方

- ・未来マップ(大手通りなどの主要道路と柿川、JR長岡駅などの主要建築物のみを示したマップ)に、アイテムカード(マップに配置する建物の絵が描かれたカード)を自由に配置してもらう。

### ●主な意見

- ・駅周辺に柿川を利用した大きなつりぼりやゲームセンターを置くと、多くの子どもが集まる。
- ・駅の中に温泉を作り、市外から来た人にくつろいでもらう。
- ・映画館を復活させて、まちなかに人を呼び戻す。
- ・温泉施設を造り、避難所としても活用できるようにする。



## 3) ワークショップ (主催：中心市街地活性化協議会 共催：NPO 法人まちなか・考房)

長岡市中心市街地活性化協議会及びNPO法人まちなか考房が中心となり、まちなか空間の活用をテーマに100のアイデア出しを行うワークショップを実施した。

### ●開催概要

日時：平成24年8月26日(日) 14:00~16:00

会場：まちなかキャンパス長岡301

### ●主な意見

#### ○地域資源の活用

#### ◆地場野菜の活用

- ・収穫から調理までをコンセプトとしたイベントの実施
- ・食品加工工場の設置や常設マルシェの設置

#### ◆歴史の活用

- ・歴史マップの作成
- ・iPadによる歴史紹介

◆通りの活用

- ・ JAZZ フェスティバルを実施し、JAZZ ストリートと命名
- ・ 映像によるアーケードの演出

○ハード整備

◆歴史の活用

- ・ 歴史マップの作成
- ・ iPad による歴史紹介

◆雁木の再生

- ・ 雁木の再生による雁木ストリートの形成

◆空き家・空き店舗の活用

- ・ 古い空き家を宿泊施設に改造

◆移動手段の整備

- ・ 貸自転車によるまちなかの回遊
- ・ 深夜バスの運行による中心市街地への利便性向上



[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

中心市街地活性化協議会については、中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項第1号に定める都市機能の増進を総合的に推進するための調整を図る者である特定非営利活動法人まちなか考房（平成19年11月15日付けで長岡市中心市街地整備推進機構に指定）及び同項第2号に定める経済活力の向上を総合的に推進するための調整を図る者である長岡商工会議所を中心として、平成19年11月20日に設置され、第1期基本計画の推進役を担ってきた。

第2期基本計画では、アオーレ長岡を中心に市民協働による活力あるまちづくりの推進を目指し、その活動の場を中心市街地へと広げるため、長岡市中心市街地整備推進機構に特定非営利活動法人ながおか未来創造ネットワークを平成26年7月1日付で指定した。

(1) 長岡市中心市街地活性化協議会構成員及び代表委員並びに監事、オブザーバー

平成29年5月現在

区 分	構 成 員	代 表 委 員	
経済活力の向上	長岡商工会議所	会頭	丸山 智
都市機能の増進	特定非営利活動法人ながおか未来創造ネットワーク	代表理事	山崎 茂樹
市町村	長岡市	副市長	高見 真二
商店街	長岡市商店街連合会	理事長	安藤 栄治
	長岡市大手通商店街振興組合	理事長	安藤 栄治
再開発組合等	大手通表町西地区市街地再開発組合	理事長	藤井 良治
	大手通坂之上町地区市街地再開発準備組合	理事長	斎藤 卓
大型店	(株)丸大	顧問	二戸 卓郎
	(株)トッキー	支社長	渡辺 清貴
公共交通機関	越後交通(株)	代表取締役社長	田中 直紀
	東日本旅客鉄道(株)新潟支社長岡駅	駅長	小池 義孝
	長岡市ハイヤー協会	会長	小川 浩司
地域経済	(株)北越銀行	取締役頭取	荒城 哲
	(株)大光銀行	取締役頭取	古出 哲彦
	(株)第四銀行	長岡ブロック営業本部長	永塚 重松
	岡三にいがた証券(株)	代表取締役 会長兼社長	武宮健二郎
有識者	長岡技術科学大学	学長	東 信彦
	長岡造形大学	学長	和田 裕
	長岡大学	学長	村山 光博
	長岡工業高等専門学校	校長	竹茂 求
その他 参加要請者	長岡市社会福祉協議会	会長	本田 史朗
	(一社)長岡観光コンベンション協会	会長	山崎 和夫
	(一社)長岡青年会議所	理事長	大石慶太郎
	長岡市飲食業組合連合会	会長	須藤 由彦
	長岡市ホテル旅館組合	組合長	横山 勝己
	特定非営利活動法人ネットワーク・フェニックス	代表理事	土田 勝也
	特定非営利活動法人まちなか考房	代表理事	小川 峰夫
	特定非営利活動法人多世代交流になニーナ	代表理事	佐竹 直子
	長岡市中心市街地商業商店街活性化運営委員会	委員長	高橋 忠仁
	(一社)地域活性化・健康事業コンソーシアム	理事長	中野 秀光

監事	長岡信用金庫	常務理事	名地 定夫
	特定非営利活動法人市民協働ネットワーク長岡	代表理事	羽賀 友信

オブザーバー	新潟県長岡地域振興局企画振興部	部長	斎藤 靖則
	新潟県産業労働観光部商業・地場産業振興課	課長	福原 実
	日本政策投資銀行新潟支店	支店長	佐藤 紳文
	長岡警察署	署長	皆川 宏人
	長岡市消防本部	消防長	中俣 幸夫

## (2) 協議会開催状況

### ①第1回協議会 平成19年11月20日

- 議題
- ・規約の承認について
  - ・役員を選任について
  - ・平成19年度事業計画及び収支予算について
  - ・まちづくり3法改正の概要について
  - ・中心市街地の現況と旧中心市街地活性化基本計画の検証について
  - ・改正法に基づく基本計画の策定について

### ②第2回協議会 平成20年1月30日

- 議題
- ・長岡市中心市街地活性化基本計画の策定状況について
  - ・中心市街地活性化に向けた取り組みの基本的な考え方

### ③第3回協議会 平成20年4月23日

- 議題
- ・長岡市中心市街地活性化基本計画（素案）について
  - ・タウンマネージメント部会について

### ④第4回協議会 平成20年6月26日

- 議題
- ・長岡市中心市街地活性化基本計画（案）について
  - ・平成20年度活性化イベント企画（案）について

### ⑤第5回協議会 平成20年8月21日

- 議題
- ・長岡市中心市街地活性化基本計画に対する「意見書」について
  - ・長岡駅周辺整備事業について
  - ・シティホール整備事業について

### ⑥第6回協議会 平成20年10月9日

- 議題
- ・（1期）長岡市中心市街地活性化基本計画の認定申請について
  - ・シティホール整備事業、駅前周辺地区整備事業、パークアンドバスライド事業等について
  - ・中心市街地活性化協議会の取り組みについて



⑦第7回協議会 平成20年12月13日

- 議題 ・ 中心市街地活性化基本計画の認定報告について
- ・ 中心市街地活性化に向けた中心市街地活性化協議会の取組みについて

⑧第8回協議会 平成21年3月16日

- 議題 ・ 平成20年11月認定の中心市街地活性化基本計画の変更について
- ・ 平成20年度中心市街地活性化事業について

⑨第9回協議会 平成21年5月28日

- 議題 ・ 平成21年度中心市街地活力再生事業について

⑩第10回協議会 平成21年10月22日

- 議題 ・ 中心市街地活性化協議会主体のソフト事業について
- ・ 中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

⑪第11回協議会 平成22年5月17日

- 議題 ・ 長岡市中心市街地活性化基本計画の変更について
- ・ 関係団体の取組みについて

⑫第12回協議会 平成22年12月17日

- 議題 ・ 認定中心市街地活性化基本計画の変更について
- ・ 中心市街地の各種事業の進捗状況について
- ・ 中心市街地活性化基本計画の事業について

⑬第13回協議会 平成23年6月22日

- 議題 ・ 中心市街地の各種事業の進捗状況について
- ・ 関係団体の取組みについて

⑭第14回協議会 平成24年4月27日

- 議題 ・ 中心市街地の各種事業の進捗状況について

⑮第15回協議会 平成25年5月10日

- 議題 ・ 代表委員の交代について
- ・ 平成24年度事業報告・収支決算（案）の承認について
- ・ 平成25年度事業計画・収支予算（案）の承認について
- ・ 長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）の策定について

⑯第16回協議会 平成26年1月22日

- 議題 ・ 長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期案）の概要説明
- ・ 長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期案）に対する意見書(案)について

⑰第 17 回協議会 平成 26 年 6 月 5 日

- 議題 ・長岡市中心市街地活性化基本計画＜第 2 期計画＞の認定について（報告）  
・長岡市中心市街地整備推進機構の変更について  
・平成 25 年度事業報告並びに収支決算書(案)について  
・協議会の組織と規約について

⑱第 18 回協議会 平成 26 年 7 月 23 日

- 議題 ・役員の選任について  
・平成 26 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

⑲第 19 回協議会 平成 27 年 5 月 14 日

- 議題 ・平成 26 年度事業報告・収支決算(案)について  
・平成 27 年度事業計画・収支予算(案)について

⑳平成 28 年 2 月 12 日付け 書面決議

- ・長岡市中心市街地活性化基本計画＜第 2 期計画＞の変更について

㉑第 20 回協議会 平成 28 年 5 月 11 日

- 議題 ・平成 27 年度事業報告・収支決算(案)について  
・平成 28 年度事業計画・収支予算(案)について

㉒平成 29 年 2 月 9 日付け 書面決議

- ・長岡市中心市街地活性化基本計画＜第 2 期計画＞の変更について

㉓第 21 回協議会 平成 29 年 5 月 11 日

- 議題 ・平成 28 年度事業報告・収支決算(案)について  
・平成 29 年度事業計画・収支予算(案)について

㉔平成 29 年 10 月 11 日付け 書面決議

- ・長岡市中心市街地活性化基本計画＜第 2 期計画＞の変更について

㉕平成 30 年 2 月 7 日付け 書面決議

- ・長岡市中心市街地活性化基本計画＜第 2 期計画＞の変更について

### (3) 協議会からの意見

## 第2期 長岡市中心市街地活性化基本計画（案）に対する意見書

平成26年1月29日  
長岡市中心市街地活性化協議会  
会長 丸山 智

長岡市中心市街地活性化協議会は、第2期中心市街地活性化基本計画（案）（以下「第2期基本計画案」という。）について、第1期中心市街地活性化基本計画（平成20年11月）にもとづく活性化に向けた取り組み状況、目標達成状況等を適正に評価し、また、課題を明らかにする中、さらなる中心市街地活性化に向けた取り組みを示す計画として、妥当であると判断します。

なお、当協議会の意見を下記に申し添えますので、中心市街地活性化に向けての事業実施にあたり配慮していただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 中心市街地活性化「長岡モデル」の確立、ならびに更なる成熟と進展

新しい市役所像を示した「アオーレ長岡」に代表される「まちなか型公共サービス」の展開と市民協働のまちづくりによる中心市街地活性化を全国に誇れる「長岡モデル」として更に成熟させ、その進展に努めていただきたい。また、より一層の官民連携、官民協働により、第2期基本計画における「まちづくりの基本方針」の着実な実施を望む。

#### 2 市民への広報広聴について

中心市街地の活性化事業に取り組むには、合併して広域となった長岡市全域・全市民の理解が必要である。当協議会としても、各界各層の市民を巻き込んだ活性化施策への取り組み、また近年の情報化社会に対応したさまざまな情報ツールを活用し、広報等に取り組んでいくものであるが、行政としても同様に、市民への第2期基本計画の目指すべき姿の周知徹底と理解を得るための説明を継続して図っていただきたい。

#### 3 市街地のリノベーション等による中心市街地全体への波及効果について

市街地再開発事業に加え、市街地リノベーションを誘発し、充実させるため、また、まちなかの賑わい創出のための各種事業の創意工夫、独自性に対し柔軟な対応と積極的な支援等をお願いしたい。

#### 4 その他

民間、公共を問わず、基本計画策定後に企画検討される事業についても、随時、協議会との連絡、調整の中で、新たなメニューとして積極的に取り入れていただきたい。

### [3] 基本計画に基づく事業及び措置の一体的推進

#### (1) 第1期計画に基づく事業の実施状況及び評価

「1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針」の「[5] 第1期中心市街地活性化基本計画等に基づく取組の把握・分析」の欄に、「第1期中心市街地活性化基本計画の実施状況」、「第1期中心市街地活性化基本計画の目標達成状況」等について記載。

#### (2) 客観的現状分析、ニーズ分析に基づく事業・措置の集中的実施

「1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針」の「[3] 中心市街地の現状に関する統計的データの把握・分析」の欄に、「まちなか型公共サービスの展開」、「市民協働によるまちづくりの展開」等に関する既存の統計データ等に基づく把握・分析を記載。また、「[4] 市民ニーズ等の把握・分析」の欄に、「中心市街地に関する県民意識・消費動向調査」、「若者の視点での意見」、「アオーレ利用者を対象にした半年アンケート」に基づく把握・分析を記載。

#### (3) 基本計画に対するパブリックコメント

「第2期長岡市中心市街地活性化基本計画（案）」について、広く市民等の意見を徴収するため、平成26年1月6日から1月20日までの15日間、アオーレ長岡をはじめ、ながおか市民センター、中心市街地整備室、各支所、ホームページ等を通じてパブリックコメントを実施した。

その結果、1人、2件の意見及び提案が寄せられ、これについて長岡市のホームページ上に、市の考え方を公表した。

#### (4) 様々な主体の巻き込み及び各種事業との連携・調整

中心市街地活性化の推進にあたっては、民間事業者やまちづくり団体、大学、行政、地元商店街など多様な主体の連携・協働により、一体となって各種事業に取り組む必要がある。

第1期計画においては、長岡商工会議所と中心市街地整備推進機構のNPO法人まちなか考房が中心となり、多様な担い手の参画を得て設立された長岡市中心市街地活性化協議会がまちづくりを推進してきた。こうした中、中心市街地をフィールドとするまちづくりの新たな担い手も生まれてきており、こうした団体とこれまでまちづくりに取り組んできた各主体との連携を強化し、多様な主体が集い、まちづくりについて議論し共に活動するための核となる場を中心市街地内に設けること等により、各種事業の連携・調整を図る必要がある。

また、第2期計画においては、アオーレ長岡やまちなかキャンパス長岡、ちびっこ広場など第1期計画において整備した公共空間の活用や情報発信に加え、まちなかに不足する多世代が享受できる健康・医療・福祉といった機能の導入を進めることにより、賑わいを中心市街地全体に波及させ、まちなかの魅力をさらに高めていく。

### ■ 「多世代にわたる健康・福祉のキー・ステーションの創造による「まちなか再生」事業プラン

#### <事業概要>

本事業プランは、高齢者福祉、障がい者福祉、医療（一次医療）、健康づくりの各カテゴリーを一体化させ、市内中心部に「センター機能」として集約し、中心市街地におけるまちづくり関係者と連携することで、まちなかの価値の創造を目指すものである。

事業実施にあたっては、医療・福祉現場の経験を活かした知見の導入を図るとともに、ヘルスケア、シニアリビング分野をはじめ、多様な大学研究機関、民間事業者等を巻き込みながら市民のニーズ調査や提供サービス調査を実施する。それらの調査結果をマッチングさせ、官民が連携した事業モデルを構築し、具体的な事業へとつなげていく。さらに本市の中心市街地活性化基本計画に位置付けるとともに、市街地再開発事業の具体的な導入機能として盛り込んでいく。

## 多世代に渡る健康・福祉のキーステーションの創造による「まちなか再生」への取り組み【長岡市】

### ○国の位置づけ(特定地域再生制度)

地方公共団体が行う自主的・自立的な地域再生計画を支援するもので、全国共通の重要な政策課題(特定政策課題)の解決に取り組む場合に重点的に支援が受けられるもの。

<特定政策課題(地域再生法施行令)>

- ①地域における少子高齢化の進展に対応した良好な居住環境の形成(健康まちづくり、郊外型住宅団地再生、集落再生)
- ②未利用の又は利用の程度の低い資源を有効に活用した産業の振興(農商工連携、再生可能エネルギーの活用等)

### 目的・取組み内容

#### 【目的】

- ①医療・福祉の境界(予防)領域を健康でつなぎ、健康寿命の長寿化をはかる
- ②ヘルスケア、シニアリビング、スポーツ等の健康周辺産業と連携し、市民が享受する健康サービスの質の向上をはかる
- ③まちなかでの健康・福祉のキー・ステーションの構想をまとめる

#### 【取組み内容】

- 多世代に渡る長岡市の健康増進施策の取組み方針の検討
- 健康拠点機能の整理と市内への普及手法の検討
- 市民ニーズ及び現場ニーズ調査
- 中心市街地での健康医療福祉に係る事業モデルの検討
- 研究成果のとりまとめ

### 検討体制

#### 多世代健康事業モデル研究会

##### 慶應義塾大学大学院

- ◎システムデザイン・マネジメント研究科
- ◎健康マネジメント研究科

##### 次世代コンテンツ研究ラボコンソーシアム

- ◎企業メンバー・・・以下、「参加企業・名簿」参照



##### 長岡市

福祉保健部、商工部、中心市街地整備室、子育て支援部、市民部



##### 地元団体

長岡商工会議所、長岡市商店街連合会、長岡市スポーツ協会、長岡市社会福祉協議会、立川綜合病院 等

### 多世代健康事業モデル研究会 参加企業・名簿

#### 慶應大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科  
健康マネジメント研究科

#### 参加企業

株式会社日本プロバスケットボールリーグ<幹事社>  
株式会社ソニービジネスソリューション  
スポルディング・ジャパン株式会社  
大和ハウス工業株式会社  
株式会社ホリプロ  
株式会社 simplified  
株式会社バディ企画研究所  
株式会社ディーライツ  
株式会社長谷川ビジネスソリューションズ  
株式会社浅野歯科産業  
KCJ GROUP 株式会社  
りそな銀行  
株式会社五藤光学研究所

#### 長岡市団体・事業者

長岡市商工会議所  
長岡市商店街連合会  
(社福)長岡市社会福祉協議会  
(公財)長岡市スポーツ協会  
立川綜合病院  
株式会社北越銀行

#### 長岡市

福祉保健部、商工部、中心市街地整備室、子育て支援部、市民部